

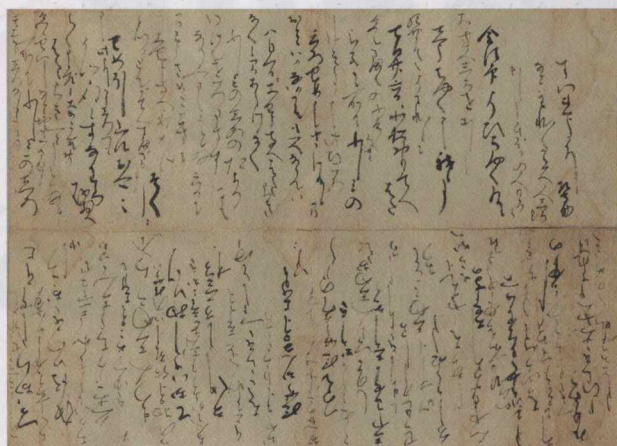
であんない

戦国時代、いくさに明け暮れた武将たちにとって、一族の結束はたいへん重要なものでした。なかでも一族の将来を左右したのが「きょうだい(兄弟・姉妹など)」です。本展覧会では戦国を彩った数々の「きょうだい」を紹介します。



文禄・慶長の役図屏風 初公開! 大阪城天守閣蔵 〈前期(10/10~11/2)のみ展示〉

朝鮮出兵における島津義弘・忠恒の活躍を描いた屏風。明・朝鮮軍をうちやぶった四川の戦いのようすを描く。島津家では、豊臣政権と距離をおく当主義久にかり、弟の義弘が朝鮮へ渡った。



前田利長自筆書状

(慶長5年)9月5日付 村井長頼宛 公益財団法人前田育徳会蔵

加賀前田家の当主前田利長が家臣に送った手紙。慶長5年(1600)の関ヶ原合戦直前のものである。弟で後継者でもあった利政が、大坂に残した妻子を気にかけて、利長に非協力的なことに激怒している。

黒漆塗黒糸威二枚胴具足

(前田利政所用) 前田土佐守家資料館蔵

加賀前田家の祖、前田利家の二男利政のよろい。うさぎの耳を模した変わり兜が特徴的である。利政は、兄利長に子がいなかったことからその後継者に指名された。



天守閣所蔵の豊臣秀長関係史料一挙公開!



羽柴秀吉書状

(天正13年)5月8日付 玉置宛 大阪城天守閣蔵

天正13年(1585)、四国攻めを前にした羽柴秀吉の手紙。四国へは秀吉の弟秀長が総大将として渡った。紀伊国の土豪玉置氏に、秀長の指示どおりに出陣せよと命じている。



鍍金燭台

(伝 淀殿所用) 大阪城天守閣蔵

淀殿の所用と伝わる燭台。美しい菊や桔梗の文様がほどこされている。淀殿は、近江の戦国大名浅井長政と織田信長の妹お市夫妻の長女。淀殿の姉妹は嫁入り後も親しく交流を続けた。

重要文化財 大阪城の櫓 YAGURA 特別公開

多聞櫓・千貫櫓の2棟公開 秋の公開

期 間 令和8年9月5日(土)から11月29日(日)までの間の土曜日・日曜日・祝日
※9月19日(土)から9月27日(日)までの間は平日も含め連日公開

入場料 大人〈高校生以上〉900円 小人〈中学生以下〉300円
※未就学児、障がい者手帳等ご持参の方は無料

公開時間やお得な天守閣とのセット券など、詳細は大阪城公園のホームページでご確認ください。

<https://www.osakacastlepark.jp/>



大阪城天守閣

〒540-0002 大阪市中央区大阪城1-1
TEL 06-6941-3044 FAX 06-6941-2197
URL <https://www.osakacastle.net/>